

# シルバー ふじのみや

2023.1.20

No.

22

公益社団法人 富士宮市  
シルバー人材センター



## ご挨拶

公益社団法人  
富士宮市  
シルバー人材センター

理事長  
**辻村 保男**

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様並びに関係者の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、シルバー人材センターの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し始めてから3年が過ぎました。医療体制の整備やワクチン接種などが進められておりますが収束は見通せていません。当面はウィズコロナで社会経済を回していく必要があるのかもしれない。

少子高齢化が進行する中で、当シルバー人材センター会員の年齢構成は70代が中心になっています。新入会員の確保が求められますが、高齢者の就業機会の多様化が進んでいる中で、会員になってみたいと思ってもらえるよう、シルバー人材センターの魅力づくりも大切になっています。

センター会員は、健康的で活動的な方が多いです。就業をとおして地域社会への参加と生きがい作りに繋がっているセンターの魅力を発信して、会員確保に努めてまいります。

現在、シルバー人材センターを取り巻く状況は様々な課題がありますが、役職員一丸となって取り組んでまいります。

会員の皆様にはこれからも健康に留意いただき、センターでの活動を続けていただくことをお願いし、また新会員の入会促進にもお力添えをお願いいたします。

結びとなりますが、皆様方にとりまして、本年が幸多き一年となりますよう心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



須藤 秀忠

富士宮市長

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人富士宮市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、令和5年の新春を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃から市政運営に多大なる御理解、御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、去年は、富士宮市にとって、市制施行80周年という記念すべき年であり、市内では年間を通して様々なイベントを実施し、皆様とともに節目の年を盛大に祝うことができました。これは、富士宮市の礎を築いてくださった先人の方々も含め、富士宮市を想い、富士宮市を盛りたてようとする多くの皆様のお力添えによるものであります。

このような記念すべき年に、祝いの幕を上げる市制施行80周年記念式典をはじめ、多くのイベントにおいて、シルバー人材センターの皆様には、駐車場整理などの業務に御協力をいただきました。皆様の御協力のおかげもあり、多くの来場者が訪れる中、円滑に事業を執り行うことができました。改めまして皆様に感謝申し上げます。

このほかにも、シルバー人材センター様におかれましては、昨年、福祉・家事援助や子育て支援事業等に特に積極的に取り組まれたと伺っております。介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスAの受託をはじめ、放課後児童クラブの補助員講習にも取り組み、実際に放課後児童クラブで就業された会員の方もいらっしゃる聞いております。これらの活動は、地域福祉の充実に寄与するものであり、住民主体の地域福祉活動を推進している富士宮市といたしましても、大変心強く思います。

会員の皆様には、人生100年の時代です。いつまでも若さと夢を持って、今後も、これまで培ってこられた知識や技術、経験を活かし、シルバー人材センターの業務や地域活動に積極的に参加していただき、活力ある地域社会の担い手として、御活躍いただきますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人富士宮市シルバー人材センターの今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を心より祈念申し上げ、私の新年の挨拶といたします。



鈴木 弘

富士宮市議会議長

新年明けましておめでとうございます。

富士宮市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、清々しい新春を健やかに迎えのとお心からお慶び申し上げます。

日頃より市議会の活動や市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

去年は、変異株ウイルスによる感染再拡大など、新型コロナウイルス感染症の危機から未だ回復していない最中、ロシアによるウクライナ侵攻という新たな脅威に直面しました。力による一方的な現状変更は、断じて許されるものではありません。苦難を強いられているウクライナの人々のために一日も早い終結を切望する思いです。

さて富士宮市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、時代の潮流に合わせて、様々なニーズに応えるため、会員相互の結束と協力のもと、市民生活に密着した多様なサービスを展開され、多くの実績と信頼を積み重ね、地域にとってなくてはならない存在として、地域社会の発展に貢献されておりますことに、改めて心から敬意と感謝の意を表する次第です。

皆様、ご存知のとおり、わが国は、世界に類を見ない高齢化社会になりました。加えて、本格的な人口減少社会を迎え、労働力の低下が深刻な状況にあります。

国が示す働き方改革では、働く意欲のあるシルバー世代の方々が、積極的に社会参加を果たし、地域社会の担い手として活躍することが求められております。

貴センターには、地域社会の活性化を促進する組織として、さらにシルバー世代の方々が、これまで培われてきた知識や経験などを活かすうえで、安心して地域社会に携わるための就業の拠点として、その果たす役割は、大変大きなものだと思います。

市議会といたしましても、安全安心な暮らしと市民福祉の向上のため、皆様の期待と信頼に応えるよう精進して参ります。

そのような中、昨年わが市議会では議員の政治倫理の確立を図るため、清浄かつ公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的とした「富士宮市議会議員政治倫理条例」を制定し、市議会として信頼回復に向けて取り組んでいるところです。皆様におかれましては、本年も引き続き、市議会へのご理解、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

結びに、富士宮市シルバー人材センターのますますの発展と会員の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

# シルバー人材センターでは高齢者の活躍を促進する人材育成に取り組んでいます。

センターでは、厚生労働省の補助事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」に応募することで様々な事業を実施しています。

この事業は、センターがセミナーや講習会を実施することで、就業に必要な技能を習得し就業機会を広げ、高齢者の一層の活躍を目的としています。

今回は、令和4年度に実施した二つの講習会を紹介します。

## 『家事支援従事者養成講習』

令和4年7月21～22日

参加者18名

介護保険のもと、介護予防・日常生活支援総合事業の一環として要支援相当の高齢者のお宅に訪問し、掃除や洗濯・料理・買い物などの日常生活のお手伝いをしていただくための講習会です。介護の資格がなくてもこの講習を受けることで、家事支援の訪問サービスの仕事ができます。講師の先生からは、専門的な内容についてとてもわかりやすくお話ししていただきました。

### 参加者の声

- ・家事支援の仕事をするために必要な講習会だと思った。
- ・具体的な事例をもとに話してくださり、とても楽しくわかりやすかった。
- ・我流の考えを改め、相手の気持ちや考えを尊重しなければと反省しました。
- ・もっと深く勉強できる機会があれば参加したい。
- ・積極的に社会参加したいという意欲の向上になった。



## 『児童クラブ補助員講習』

令和4年10月19～21日

参加者27名

児童クラブの支援員の方々の補助をしていただくための基本的な知識や心構え、現代の子供たちの傾向や取り巻く環境、児童クラブでの日常的な過ごし方について勉強しました。

子供たちが安心して過ごせるように見守っていきます。実際に子供さん達と一緒に過ごしながら楽しい講習会になりました。

### 参加者の声

- ・子供の気持ちに寄り添うことが大切だと思いました。
- ・現場を見ることができて身近に感じる事ができた。
- ・自分たちの子育ての時代と色々な事がずいぶん変わったと思う。
- ・高齢でもお手伝いできることがあってうれしい。
- ・自分の自信につながればと思い受講しましたが、とても充実した3日間でした。

# グラウンドゴルフ同好会

令和4年度グラウンドゴルフ大会が11月19日に開催されました。コロナ禍の影響で4ヶ月遅れの開催となりましたが、会員一同楽しい一日を過ごしました。優勝は遠藤タツ子様、準優勝は辻村保男様でした。

【令和5年度交流大会の開催について】

今年も、1月から毎月で年12回（第3土曜日 雨天の場合第4土曜日）の交流会（うち7月は大会）を下記の日程で開催しますので、奮ってのご参加をお待ちしております。  
（部長 小泉芳文）



開催日（1月から毎月第3土曜日） 午前8時受付 8時30分スタート

第1回	1月21日	第4回	4月15日	第7回	7月15日	第10回	10月21日
第2回	2月18日	第5回	5月20日	第8回	8月19日	第11回	11月18日
第3回	3月18日	第6回	6月17日	第9回	9月16日	第12回	12月16日

■参加費：200円/1人（グラウンド、用具使用料 他）

■会 場：沼久保水辺の学校グラウンド

■連絡先：部長 小泉芳文 TEL090-1475-2522

## ▶▶ 新しい仲間です。どうぞよろしく。

## 新入会員

### ●8月入会

渡井紀美江  
斉藤 伸二  
入月永弥子  
加藤タミ子  
原 義廣  
忠隈 義広

### ●9月入会

小川 半三  
遠藤 廣  
望月ひさ代  
遠藤のり子

戸塚なつえ  
小林 初恵  
赤池 康成  
下村 敏之  
菅沼田 裕

遠藤 孝明  
佐野 茂  
角 不二夫  
稲葉 政  
佐野 直  
角田真理子  
南條 清子  
下村ひとみ

片田 正人  
遠藤 久子  
斉藤 格行

### ●12月入会

望月 芳明  
飯塚みどり  
佐野 明美

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

鈴木 かずゑ 様

## ▶▶ 編集後記

高齢者白書の調査では、インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする高齢者は増えていますが、情報機器を使わない方もまだまだ多いとのこと。情報化社会が進展する中で、情報伝達のデジタル化が進んでいます。シルバー会員のデジタル対応支援を進めていく必要があります。

会報第22号の発行にあたり、ご協力をいただきました皆様にお礼を申し上げます。

また、皆様からのご意見、エッセイ、紀行文などをお待ちしています。



## 公益社団法人 富士宮市シルバー人材センター

事務局 〒418-0022 富士宮市小泉569番地2  
TEL (0544) 23-4008  
FAX (0544) 23-5530

編 集 普及啓発委員会

佐野啓子

高橋明男

遠藤能則

印 刷 フジ印刷 (有)

TEL (0544) 23-3040

[E-mail] [fujinomiya@sjc.ne.jp](mailto:fujinomiya@sjc.ne.jp)

[URL] <http://www.sjc.ne.jp/fujinomiya/>